

Active School Kai Project 令和6年度プロジェクト計画書(報告書)

学校番号	32	学校名	都留高校		
全・定・通	定	学年	2	在籍生徒数	4 名
教育目標 (学力に関するもの)		基礎学力の確実な定着を図り、思考力・判断力・表現力を向上させながら、社会で必要とされるコミュニケーション能力を育成する。			
育てたい生徒像 身に付けさせたい資質・能力		・仲間を大切にし、相手を思いやることのできる生徒。 ・主体的、創造的に考え行動できる生徒。 ・社会生活で基礎と広い教養と知識を身に着けようとする生徒。			
各教科の取組					
教科	身に付けさせたい資質・能力	中間評価	年度末評価	次年度への課題	
国語	実社会に貢献するために必要な知識及び技能	3.5	4	BYOD操作に慣れ、感想や意見、PPT作品等をスムーズに編集し、提出できるまでになった。漢検や文検の合格率を高めた。	
	実社会で問題を解決するために求められる創造的な思考力、判断力、表現力	3.5	4	BYODを活用し感想や意見、作品を発表し、他者と活発に意見交換できる者が多いが、外国籍生徒の日本語能力を更に高める必要がある。	
	主体的に学びに向かう及び自己肯定感を持ち他者と協働できる人間性	4	5	BYOD活用に全員が主体的に参加した。自己肯定感を更に高め、他者への思いやりを持って協働できる雰囲気や醸成した。	
	様々な地球系の課題の解決に向けて、多角的な考察できる能力	4	4	具体的な課題とその解決法について、自らの調べ学習や担当教師との討論等をおとし、考察能力育めるような授業つくりをしたい。	
地公	地域ごとに異なる文化を尊重しながら、国際理解を深めることができる思考力	4	4	民族・宗教・その他社会的諸問題の事例検討等を通じて判断力や自ら考え行動できる能力を養いたい。	
	地理的な見方・考え方や地図に関する技能	4	3	地域における具体的な課題を用いるのフィールドワークや旅行計画書の作成などにも取り組んでみたい。	
数学	分数の割算など複雑な計算ができる基本的な知識・技能	3.5	4	基本的なところではできるようになったが、いまだにミスが多められる。注意深く計算しミスを抑え減らすように指導していきたい。	
	数式的な表現を用いて事象を簡潔に表現する力	3.8	4	BYODを使い、視覚的に図形をとらえることができた。次年度の2年次にも使ってみたい。	
	粘り強い課題に取り組みと力する態度	3.5	4	ついに「解答が目が行きかかったことが、後々にではあるが自分の解答までとどいて書いてくれた。驚かされたがよいようになってきた。	
理科	英語の聴きの理解を深め、実際のコミュニケーションシーンで適切に活用できる技能	3.5	4	基礎力が定着できると、同じ英文を繰り返し音読するなど、繰り返し練習の仕方に何れも重要である。	
	日常的な話題や社会的な話題について適切に表現し伝え合う能力	3.8	4	生徒間の学力差が大きい上、いまとは異なることができない「生徒」もあり、生活面や学力・伝え合いレベルまで違っている。	
	異文化理解を深めつつ、主体的、自律的に英語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度	3.5	3	異文化に興味・関心を持つことが大切で、教科書の内容を踏まえながら、異文化理解につなげていくことが大切である。	
芸術	古典の書体、書風に関する知識	4	4	古代における文字を理解し、今までと異なる書体の用字、運筆の技法を習得させていきたい。	
	線画、字形、構成を生かして表現する能力	4	4	古典の線画を通して点画、線画、字形などの技法を身に着け、表現を構想し、工夫することができるようになりたい。	
	書道に興味・関心を持ち主体的・創造的に学びとる態度	4	4	古典の用字、運筆を主体的、意欲的に学びとる姿勢を持たせていきたい。	
家庭	生活を主体的に営むために求められる知識及び技能	4	4	生活者として、自立・自律していくための知識・技能を実生活で生かせるように具体的に指導していきたい。	
	実業・実習等を発展させ実践的な活動を家庭や地域で行うことができる能力	3	3	外国籍の生徒への援助を通じて、共助の考えで協力で実習を行えるようにしていく。	
	生活の営みについて課題を見つめ主体的に改善を図ろうとする態度	3	3	自分の生活の中から課題を見出し、PDサイクルを意識し問題解決に当たらせたい。	
保健	健康及び運動についての基礎的な知識並びに健康の保持増進のための実践力	4	4	健康及び運動の保持増進するための理解は授業の中から理解できているが実践するための行動まで進んでいる生徒が少ない。	
	生涯にわたっての豊かなスポーツライフを継続する資質や能力	4	4	生徒それぞれに、自分に必要とするスポーツ継続は理解しているが今後の計画等には至っていない。	
	明るく豊かな体力ある生活を営む態度	4	4	現状の生活に對し一生懸命であるが、特に前向きで考えることができていない。	

教科	身に付けさせたい資質・能力	中間評価	年度末評価	次年度への課題
情報	情報化社会に必要な知識、技術を身に付ける能力	4	4	知識とスキルを先行させたので、何のために情報を学び、どう活用し、どのようなことをしてはいいかわからない本質的な疑問にまで触れていない。
	正しい情報を集め整理して、発信できる能力	3	3.5	ワード、エクセル、パワーポイントなど実用的なソフトの活用に終結した感があるが、体系的な問題解決をまとめる時間が欲しかった。
	情報化社会で陥る可能性がある危険を回避できる能力	3	3.5	情報の暗号化やメディアリテラシーなど、用語や概念などは学んだが、具体的な事案にはあまり触れる時間がなかった。
総経	課題を見つけ、他者と協力・理解するとともに調査活動を実施する能力や資質	—	5	自分合った課題を見つけ調査し、問題解決に向けて実行錯誤しながら行っていたが仲間との協力を期待していたようであった。
	テーマの設定し計画を立案する能力、情報を分析する能力	—	4	テーマは設定できるが計画的に進める能力には少し欠けているようであった。
	他者と協働し学び合う態度、社会に参画し理想の社会を実現しようとする態度	—	4	個々での学びが優先し仲間との協働には至っていないようであった。

【授業アンケート】高評価数値の推移(※:小数点第1位まで)		R8中間	R6度末
授業の始めに授業の目標を確認することができた①強く②そう		100.0%	100.0%
話し合い、討論、発表などの言語活動に積極的に取り組むことができた①強く②そう		100.0%	100.0%
他の人の話や発表に耳を傾けることができた①強く②そう		75.0%	66.0%
ノートで授業の記録をとることができた①強く②そう		100.0%	100.0%
授業・探究など、自分でとら別の場面では使おうとすることができた①強く②そう		100.0%	100.0%
授業や単元の終わりに、目標を達成しているかを評価することができた①強く②そう		100.0%	100.0%
家庭学習(宿題や課題)に授業を、積極的に結びつけることができた①強く②そう		50.0%	66.0%
授業や家庭学習でICT機器を効果的に活用することができた①強く②そう		100.0%	100.0%

保護者アンケート結果(学力に係わるもの)

「学習意欲や基礎学力の向上につながるよう授業や教材に工夫がなされている」というアンケート項目については、ほぼ全ての保護者が「達成できている」「ほぼ達成できている」と回答した。また、「成績評価は様々な観点から公正かつ公平に行われている」という項目についても、ほぼ全ての保護者が「達成できている」「ほぼ達成できている」と回答した。

授業アンケート等を踏まえた総合評価(学校としての今年度の成果と次年度の課題を含む)

名の生徒ではあるが学力差が激しく、一つの教室で授業を行うには困難があった。パート展開できた授業においては個々の学力にあった深度で授業を進めることができた。日本語が不得手である外国籍の生徒もあり、授業展開、定期試験には各教科とも工夫が必要になった。生徒の反応、理解は十分とは言えないものの、各科目の目標には達成していた。しかし、家庭学習という習慣がない生徒があり、いかに家庭での学習と結びつけていくかは課題となっていた。